

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	全学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18044	1	前期	必修	1	15
授業科目名 (英文)	ボランティア論 (Volunteer Outline)				
担当教員名	齋藤 信夫				
授業の概要及び到達目標					
<p>1995年の阪神淡路大震災では「ボランティア元年」と言われ、2011年の東日本大震災以降、ボランティア活動に対する関心はますます高くなりました。「21世紀はボランティアの時代」といわれています。</p> <p>【授業の概要】ボランティアの背景、現状、課題など「ボランティアを学ぶ」と同時に多様な事例によって「ボランティアで学ぶ」ボランティア論として、市民社会の担い手としてのボランティアを理解し実践に結びつけ、ボランティアにより自己実現を図ります。毎回のリアクションペーパーでは考えをまとめて書くことが求められます。</p> <p>【到達目標】1)新しい公共の実現にとって不可欠な、さまざまな社会的課題解決に取り組むボランティアについて学び、2)市民社会や医療保健の推進にとって不可欠な、ボランティアについての理解を深め、社会化し自立した医療者としての社会観を養い、コミュニケーションを豊かにし、3)ボランティアの本質である「共感」から「ホスピタリティ」と「社会性」そして自己実現を育むことを目標とします。</p> <p>【未来への確かな希望を持って生きる力】【自助/公助に次ぐ第三の助け合い共助】をともに学びあいます。</p>					
準備学習等					
<p>双方向の授業をするので、常に真摯な態度で臨むこと。</p> <p>ボランティア活動は日々の暮らしと深くかかわっているので、生活の中で、通学途中で「あれ?!」ということを大切にしてもらいたい。たとえば駅や交差点などにある点字ブロックは何のためにあるのか、それが本当に役立っているのだろうか。そんな社会的事象に疑問や不思議や関心を持ち、一緒に授業を作っていくために私たちが暮らす社会や世界に関心を向けること。毎日の新聞や町内会の掲示板など身の回りの情報や出来事に関心を持つことが社会を身近に感じる第一歩になります。</p> <p>授業計画に事前学習と事後学習を書いています、概ね90分程度で準備学習してください。</p> <p>”One for All , All for One” から【We are all one】</p>					
成績評価の方法	レポート評価 40% 毎回のリアクションペーパーの内容を評価 試験 60% 理解度の確認とボランティアについての考察を評価				
テキスト	なし 授業概要については資料としてプリントを配布します				
参考図書	日々の新聞やニュースに関心を持つこと 授業で随時紹介します				

備 考	<p>○学生へのメッセージ 本講は座学なので、選択科目「ボランティア活動」を履修し実体験することが望まれる。</p> <p>○授業時のレポートは返却します、振り返り学修に活用する等よく復習してください。試験についても返却するので学びを確かなものにしてください。</p> <p>○オフィスアワーについて 質問などがあればアクションペーパーに記入してください、ペーパーで返すか、授業で取り上げます。</p> <p>○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図で確認すること。</p>
授 業 計 画	
<p>「ボランティアは究極の娯楽」「ボランティアが動く、社会が変わる」という考えがあります、何故なのか一緒に考えていきましょう。</p> <p>できるだけ一方通行の授業ではなく、講義、ワークショップ、討論、ビデオ視聴など多様な手法をもちい、皆さんとやり取りをしながら進める参加型授業を目指します。</p> <p>第1回：科目説明、授業のルール、レポートと試験について ボランティア活動のイメージをワークショップで探る 視聴覚教材「高校生のボランティア活動」でボランティアの世界を知る 事前学習：マクドナルドが実施している長期入院児童の家族の支援活動を調べる 事後学習：高校生たちは何故ボランティアとして活動するのかをまとめる。</p> <p>第2回：ボランティアの理念とサービスマンシップ ワークショップ「ボランティアにとって大切なものは何」を考え、その可能性を探る 事前学習：点字ブロックや音の出る信号機は何のためにあるのかを考え整理する 事後学習：ボランティアの可能性をまとめる。</p> <p>第3回：ボランティア活動の現状と課題 ボランティア活動の事例について多角多面的に考えあひ、ボランティアの現状を考える 事前学習：どんなボランティア活動があるかを調べ整理する 事後学習：ボランティア活動の現状と課題をまとめる。</p> <p>第4回：ボランティア情報の検索とコンタクト インターネットを使って ※PC持参 事前学習：ボランティアとしてどんな活動をしたいかを整理確認する 事後学習：取り上げたボランティア活動について考察する</p> <p>第5回：新しい公共を創り出すボランティア活動・NPO・NGOの概念と現状。 特定非営利活動促進法という法律とその背景を理解する 事前学習：クラウドファンディング/子ども食堂について調べる 事後学習：ボランティアを支える仕組みをまとめる。</p> <p>第6回：各国のボランティア事情 韓国、中国、イギリス、アメリカなどのボランティアに対する政策や取組みについて</p> <p>第7回：災害とボランティア 被災者とボランティアの関係 学生が立ちあげた災害ボランティア団体 事前学習：災害時のボランティア活動事例を調べ整理</p> <p>第8回：まとめ 生き方としてのボランティアとボランティアコーディネーション ホスピタリティあふれる市民社会を目指して</p> <p>社会的な出来事を随時授業に取り込むのでアップデートなものに変更することがあります</p>	